

平成 24 年 11 月 13 日

第13回玄海町立小中学校基本構想等検討委員会

1. 開 会

2. 協 議

- |                            |     |
|----------------------------|-----|
| I. 玄海町立小中学校建設工事実施設計業務の進捗状況 | P1  |
| II. 教育ビジョンの提案・協議           |     |
| ①二学期制                      | P13 |
| ②制服、校名、校歌、校章               | P16 |
| ③保護者メールの活用                 | P20 |
| ④学校校納金の徴収・支出               | P22 |
| III. 教育ビジョンの取り纏めについて       | P24 |

3. 次回日程の確認

- (1)平成 24 年 12 月 18 日(火) 町民会館 18 時 30 分～  
「玄海町立小中一貫校 町民説明会」

4. 閉 会

## 【継続協議事項】

### 1. 二学期制

#### (1) 学期制をとる学校 (H18. 文部科学省調査)

	小学校	中学校
3 学期制	81.9%	80.1%
2 学期制	18.1%	19.9%

#### (2) 佐賀県内の二学期制

##### ① 導入学校数

	三学期制	二学期制	合計
小学校	162 校	19 校	181 校
中学校	90 校	13 校	103 校
合計	252 校	32 校	284 校

※武雄市及び嬉野市の全小中学校は二学期制を導入。

##### ② 終業式と始業式(平成 23 年度の場合)

	小学校	中学校
一学期終業式	10 月 7 日(金)	10 月 7 日(金)
二学期始業式	10 月 11 日(火)	10 月 11 日(火)

※夏季休業期間は、7 月 21 日～8 月 31 日

#### (3) 武雄市教育委員会の事例

質 問	回 答
①導入の目的は？	H16 年度に旧武雄市で導入。授業時数確保、学期末に子どもと向き合う時間の確保、教育課程の見直しが目的
②3 学期制との違いは？	7 月、12 月の教育活動が異なる。3 学期制の場合、学習まとめの時期で通知表作成や学校全体の行事等が入る。まとめがなくなることで、教育活動が続けられる。
③長期休業期間が間に入るので、リズムが変わるのではないか？	学校や家庭に確認しているが、9 月のスタート時に課題は見られない。中学校は 8 月下旬以降、学校に来て学習を始めるケースが多い。小学校はサマースクールをはじめ、前期の授業が遅れているところの再指導が可能となり、後期の準備ができています。
④テストの回数は減るのか？先生たちの評価等に係る負担も減っているか？	テストの回数は減っている。先生たちへの負担も減少している。夏休みに評価をまとめることもできる。また、評価のために短縮授業をしていたが、必要なくなった。
⑤長期休業前に評価を示しているのか？	小中学校とも前期の授業評価について、テストの素点等を示している。

#### (4) 第 1 2 回意見・質疑

(意見) 二学期制導入が早くから行われているが、思うように実施校が伸びていない。

保護者の方、地域の方への十分な理解が進まないと感じる。

武雄と嬉野が行っているが、1校だけが行っても難しいので、教育委員会が統率して実施をする必要がある。試行することが難しいので、慎重に考える必要があるのではないかと。いろいろな意見をまとめて検証する必要がある。

(意見) 中学校にとっては、夏休み前に時間が取れるので、子どもと接する時間が確保できる。通知表を書かなくなるし、テスト回数も減るので、教員側にも余裕がでる。ただし、唐津地区は3学期制をとっている。1校だけしても、他校とあわない。夏休み明け9月に入って、期末テストをしている。連続性が出てくるし、実技教科のように時間数が少ない教科については、長期のスパンで成績評価ができる。そういう意味では、中学校にはメリットがある。

(意見) これまでの意見も踏まえて、情報収集を行って、再度検討を。

#### (5) 第13回協議資料

##### ① 公立小中学校における学期の区分等の変化 (文科省調査資料)

	H23 年度		H21 年度		H17 年度	
	小学校	中学校	小学校	中学校	小学校	中学校
3 学期制	78.0%	77.6%	78.2%	77.0%	86.0%	84.7%
2 学期制	<u>21.9%</u>	<u>21.9%</u>	<u>21.8%</u>	<u>23.0%</u>	<u>14.0%</u>	<u>15.3%</u>
その他	0.1%	0.5%	0.0%	0.0%	0.0%	0.1%

※参考：公立高等学校の学期の区分等

	H22	H19	H17
3 学期制	70.6%	66.6%	67.8%
2 学期制	<u>28.6%</u>	32.5%	<u>30.7%</u>
その他	0.9%	0.6%	1.4%

##### ② 二学期制が普及したタイミング

平成 14 年度に学習指導要領改訂と完全学校週 5 日制がスタート以降、学力向上や授業時間数確保等の観点から二学期制が増加してきた。

##### ③ 高等学校の三学期制への変化 (資料：ベネッセ教育情報サイト)

高校も半期毎に単位制を取得する制度の導入や学習指導要領改訂により、二学期制を導入する高校が増加。始業式・終業式・定期テストの回数を減らし、学校行事の見直しなどにより、授業を行う時間を確保した。

しかし、近年の調査では、三学期制に戻す傾向が見られ、従来の三学期制に対して、二学期制のやりにくさを感じ、元に戻す学校もある。

##### ④ 学期の区分変更を行わない対応策

三学期制から二学期制への変更など、学期を変更せず、授業時間数の確保等が行いやすい対応として、

###### (ア) 夏期休業期間の短縮

###### (a) 実施状況と現状

平成 23 年度より、有徳小学校及び有浦中学校が夏期休業期間を変更。学校運営にあわせ、期間を設定した。

どの学校も夏期休業期間の後半は、体育祭準備やサマースクールなどにより、児童生徒が学校に来る機会が多い。

(b) 課題

猛暑の中で授業を行わなければならないことがあげられるが、新しい学校では普通教室に空調を設置するため、対応可能。

教職員の研修が夏期休業期間に集中するが、情報通信を活用した e-learning 的研修ができれば、出張の手間等も軽減できる。

(イ) 土曜日授業の実施

(a) 実施状況と現状

新学習指導要領の実施により、年間の授業時間数が増加。子どもたちの学習負担の増加対応や学校行事の精選などが必要となり、土曜日授業を実施する教育委員会や学校が出てきた。

実施済、または実施を検討している主な自治体として、東京都・横浜市・京都府・大阪市・福岡県など。佐賀県においても土曜日等授業に取り組む実践研究校として、9 小中学校（千代田中部小、江北小、神埼中、伊万里中、北方中、山内中、白石中、福富中、有明中）で土・日、夏休みを利用した授業を実施。

町内の小中学校でも、土曜日等に授業参観等を実施する場合がある。

(b) 課題

教職員の勤務管理が課題となる。労働時間は1週38時間45分（1日につき7時間45分）となっている。そのため、佐賀県では、平日との授業日振替え等の措置を行うようにしている。また、県条例において土・日曜日は週休日となっているため、変更が必要。

(仮) 決定

## 2. 制服、校名、校歌、校章の提案・協議

### (1) 制服

#### ① 現在の状況

小学校は自由服装、中学校は制服を着用。

#### ② 近隣校の制服導入状況

小中一貫校	小学校	中学校
唐津市立七山小中学校	○	○
佐賀市立小中一貫校北山校		○
佐賀市立小中一貫校芙蓉校		○
熊本市立富合小中学校	○	○
八女市上陽北浜学園	○	○
※大分市賀来小中学校	○	○

#### ③ 大分市賀来小中学校



前期（1年～4年）



中・後期（5年～中3）

#### (ア) 導入時期

小中一貫校を設立した平成19年度から導入。それまで小学校は自由服。

#### (イ) 使用形態

日常的に着用。体操服は、全学年統一。

#### (ウ) 買い替え

前期と中・後期の制服は異なるため、必ず5年生になる際、買い替えている。このときの買い替えも成長に合わせた買い替えも個人負担。

#### (エ) 制服のメリット

子どもたち自身が制服を着ることにステータスを感じ、気持ちの面で大きく成長したように思える。どこの児童生徒であるかすぐ分かることから、学校の顔としての

自覚も出る。

④一般的なデメリット

(ア)学校で着方の指導が必要

(イ)冬場の温度調整が難しい

⑤他校の事例（「小中一貫教育の特色を活かした学校づくり」より抜粋）

	1年	2年	3年	4年	5年	6年	7年	8年	9年
はるひ野	自由服						自由服(式典等は制服)		
芝園	自由服						制服		
府中	小学生用制服						中学生用制服		
照葉	自由服						制服		
豊里	自由服						制服		

(2)校名、校歌、校章

①三小統合時の取組み

(ア)校名

行政放送、広報誌等を通じて、校名を公募。

「有浦小学校」に対する意見が多数を占めたため、「有浦小学校」で議会に提案。しかし、否決されたため、教育委員会で再協議。「有徳小学校」で議決された。

(イ)校歌

当時の三小学校長先生に歌詞作成を依頼。

作曲は、有浦小学校教諭だった山下都代子先生に依頼。編曲を森川律子さんが行う。

(ウ)校章

唐津青翔高校情報・芸術コースの生徒に作成依頼。

23案を提案していただき、準備委員会等で選考を行い、決定。

②他校の事例

(ア)公募

- ・宇治市小中一貫校 宇治黄檗学園…「黄檗」は地名。
- ・浜松市庄内小学校、庄内中学校…「庄内」は地名。
- ・栗原市立金成小中学校…「金成」は地名。
- ・京都市立開晴小学校、開晴中学校…校名のヒントとなる漢字や文字を公募し決定。

③協議の基本（案）

(ア)玄海町内の各小中学校が1つになるので、新たな校名、校歌、校章を基本とする。

(イ)校名、校歌は、各小中学校の児童会と生徒会が主導して、考える。

(3)意見・質疑

①制服

(意見) 小中学校の子どもたち並びに保育園、小中学校の保護者さんの意見を聞いてみてはどうか？

(意見) 保育園の数名の保護者さんに聞いて見たが、だいたい反対の声が多かった。

小1～4年生の間に、ずいぶん体つきが変わってくるので、買い替えが必要。  
制服は高いというイメージがある。アンケートをとってほしいという意見がある。  
上着のみ制服にして、下は自由にということもできるか？

(意見) 七山小中学校の女子は吊りスカートで、体形の変化に対応できる。

(意見) 夏、冬、間服があるところもあるので、そのあたりの提示も必要ではないか。

## ②校名、校歌、校章

(意見) 校名については、公募で応募された方に対する説明が十分できなかった。

(意見) 子どもたちが考えるという案だが、子ども達がいったん決めて進めていって、やっぱりダメだから次というふうには行かないので、慎重に進めていく必要がある。

(意見) 児童生徒会といっても、4校の先生方がフォローしなければならない。

(意見) 校章の決め方は、3小学校統合時の方法を踏襲してはどうか。

(意見) 校章は校名が決まらないうイメージできないと思うので、その後となるが、  
青翔高校生徒や小中学校の生徒でもいいと思う。

(意見) 前回のときも結構悩んだことであった。

## (4)制服の協議内容

### ①現在の中学校制服単価 (いずれも平均)

		有浦中学校	値賀中学校
男子	冬用上着	17,600 円	23,000 円
	冬用ズボン	7,200 円	7,950 円
	夏用シャツ	2,310 円	2,500 円
	夏用ズボン	4,410 円	7,200 円
	合計	31,520 円	40,650 円
女子	冬用セーラー服	13,400 円	13,000 円
	冬用スカート	12,600 円	11,500 円
	夏用セーラー服	5,040 円	7,500 円
	夏用スカート	5,880 円	7,800 円
		36,920 円	39,800 円

### ②小学校の制服参考単価

		七山小学校	浜崎小学校	明治学園(私立)	敬愛小学校(私立)
男子	冬服	11,800 円	14,293 円	21,000 円	28,600 円
	夏服	2,250 円	2,150 円	5,000 円	8,800 円
	合計	14,050 円	16,440 円	26,000 円	37,400 円

女子	冬服	13,400 円	15,734 円	24,000 円	30,900 円
	夏服	2,000 円	1,987 円	7,400 円	16,950 円
	合計	15,400 円	17,721 円	31,400 円	53,850 円

③1 世帯あたり、子供服への年間支出費用（総務省 H23 家計調査より）

	年間支出額
子供服	40,654 円
子供用シャツ・セーター類	2,894 円
合計	43,548 円

※子供とは、小学生までが対象

※世帯は、平均年間収入 4,220 千円未満の官民勤労世帯。個人経営・無職は除く

※子供服は、オーバー、ジャンパー、ワンピース、ズボン、スカート、小学校等制定の上着、ズボン、スカート、スモック等を含む

※子供用シャツ・セーター類は、ワイシャツ、ブラウス、ベスト、T シャツ、小学校等制定のブラウス・ワイシャツ、セーター等を含む

④上記①②③の比較について

(ア)制服は、最低 3 年間着用するため、初期購入費用は高いが、購入する回数は少ないので、1 年間あたりの費用は低コスト。

(イ)子供服は、1 着あたりの費用は安いですが、成長や季節に合わせた支出が必要になる。

(ウ)保護者の経済状況が反映されやすい可能性もある。

以上から、1 年間に購入する子供服費用と 1 年間の制服にかかる費用を比較すると、「制服は高いもの」とは言いがたい。

## 2. 保護者メールの活用提案・協議

### (1)使用内容

- ①緊急情報の通知…不審者情報や気象状況に応じた緊急情報などの通知を行う。
- ②学校情報の通知…学校行事の開催内容や休校、インフルエンザ感染予防など学校運営に関わる内容の通知を行う。
- ③携帯用 HP…携帯用ホームページにおいて、学校行事等を掲載し、情報発信。
- ④その他…学校以外に、児童館からの情報発信にも利用。

### (2)利用者数

10月12日現在 396名（参考：保護者数 460名）

（平成22年5月開始当初 132名、平成23年3月 359名、平成24年3月 395名）

### (3)通知数

平成23年度実績 177通

平成22年度実績 80通

### (4)今後の活用方法

#### ①緊急情報の通知の一括管理

小中一貫校となり、学校が1校になるので、発信内容や発信するタイミングなどが一元管理できる。現在、保護者によっては、小・中それぞれから通知が来ることもあるが、二重送信が無くなり、受信者側の通信料等を減らすことができる。また、学年別設定も可能となり、学年別に送信することも可能。

#### ②学校・教委ホームページとの連動

学校や教育委員会ホームページに掲載された最新情報を携帯ホームページと連動し、メールマガジンとしてお知らせする。

#### ③登録者数の増加による子ども見守り組織の形成

保護者のみならず、地域の方にも登録者を増やす。

地域の方には、学校の取組みを知ってもらい、登下校時にはメール配信等で知らせ、地域の方が子どもたちを見守る環境を形成する。

### (5)意見・質疑

特に意見なし。

### 3. 学校校納金の徴収・支出の提案・協議

#### (1)現状の取り扱い

- ①校納金とは、教材費、社会科見学費、修学旅行費、スポーツ振興センター掛金、課外活動経費など保護者が負担していただく経費。
- ②校納金の徴収は、保護者から子どもを介して現金で徴収。
- ③小学校は学級毎、中学校は学年毎に口座を持ち、年度末精算する。精算時には、報告書類等を添付する。

#### (2)現金徴収の課題

- ①徴収した校納金を毎月口座へ振込むことが必要(現金を持たない)。
- ②通帳等関係書類の管理など不要な事務が発生している。(学級毎になると10数枚にも)
- ③公金等の不正処理事案等になりかねない。

#### (3)他校の事例

##### ①佐賀市教育委員会

学校徴収金会計システムの導入

導入目的：学校徴収金の扱いが学校毎に異なるので、管理や事務の取り扱いについてルール化。

徴収金の取り扱いを事務職員に吸い上げて、教職員の業務負担軽減を図る。

徴収金の流れ：徴収金の管理や出納は、全て事務職員が行う。

- ①毎月の徴収金額を保護者に通知。
- ②各学校で徴収（徴収方法は口座振替や現金徴収など学校で異なる。）
- ③徴収したデータを基に事務職員が台帳管理する。
- ④徴収した徴収金から支払いに充てる。

導入メリット：教員は、教材購入等計画立案や会計報告を行う。その他の業務を事務職員が行う。

##### ②福岡市教育委員会

学校徴収金管理システムの導入

導入目的：未納対策、学校事務の削減などもろもろ

徴収金の流れ：①保護者に徴収金額を通知。

- ②指定した口座から徴収金額を引き落とし。
- ③引き落としされた徴収金は、銀行で一括管理。
- ④徴収状況は、システムで管理。
- ⑤徴収金は学校長口座に振り分けられる。
- ⑥学校では、事務職員が必要な支払いに充てる。

#### (4)基本的な方向性（案）

- ①校納金の徴収や管理は事務職員が行う。
- ②教員は、教材購入計画や校外研修計画など計画立案と会計報告のみ行う。

(5)意見・質疑

(意見) 徴収方法については、振込みがよいが、給食費のときに協議したように保護者が集めるほうが未納が少ない。

(意見) 徴収方法を含めて、次回提案されたもので、再度協議する。

(6)協議内容

①給食費徴収方法

徴収員徴収方式を仮決定。各地区の担当者が毎月集め、金融機関で納付を行う。

②提案内容

	提案1	提案2	提案3
方式	徴収袋回収方式	徴収員徴収方式	口座引落方式
特徴、条件等	①毎月生徒を通じて、保護者に徴収袋を渡す。 ②生徒は保護者から受け取った徴収袋を事務室に提出する。 ③取り纏めた徴収金は金融機関口座に振り込む。	①各地区の担当者が毎月集め、納付する。 ②徴収者は、毎月金融機関に納付する。 ③徴収内容を学校に通知する。	①保護者の口座から毎月引落しを行う。 ②金融機関によっては手数料が発生する。
徴収通知から会計報告までの手順	①年度当初、担任等が校納金の利用計画や徴収計画等を立案し、保護者に通知 ②毎月、校納金袋を生徒に渡す。 ③保護者から校納金を受け取った生徒は事務室に袋を提出する。 ④事務職員が校納金を取り纏め、口座に振り込む。	②年初めに徴収対象の児童生徒・校納金額を徴収員に通知する。 ③毎月、徴収員となる保護者が校納金を徴収する。 ④徴収した校納金を学年毎に口座に納付する。 ⑤徴収員は徴収及び納付状況を学校に通知する。 ⑥納付された校納金を事務職員が確認する。	②保護者は、引落口座を学校に通知する。 ③指定日に口座から引落しを行う。 ④引落した校納金を事務職員が確認する。 ⑤1回目の引落ができなかった場合、再引落を行う。2回目もできなかった場合、現金納付書を送付する。
	<ul style="list-style-type: none"> <li>・支出の処理は全て事務職員が行う。</li> <li>・年度終りには、担任等が校納金の会計報告を行う。</li> <li>・滞納している家庭へのアクションは事務室で行う。</li> </ul>		
課題	登校後、すぐに提出しない場合、紛失等の問題も起きる。	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学年毎に校納金額が異なるので、徴収員の手間になる。</li> <li>・金融機関に納付された内</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・口座に残金がないと引落ができない。2回の引落ができないときに納付書を送付する手間が増える。</li> </ul>

		容を徴収員から確認することが必要。	・口座引落しに手数料がかかり、町の費用負担がある(1件10円)。
--	--	-------------------	----------------------------------

※徴収員徴収方式の場合、給食費と合算して徴収することも可能か。

教育ビジョンと子供たちの学校生活との関係(イメージ)

	行動や活動内容	教育ビジョンの内容
6:00 起床		
朝食	朝食を必ず摂る。	
着替え	服を着替える。	制服の導入可否
7:00 登校支度	カバンに教科書や携帯タブレットなどを入れる。	※カバンの導入可 ICT活用(携帯端末)
通学	徒歩、自転車、通学バスで通学する。	通学手段 学校体力向上取組
8:00 登校	登校時間までに登校する。登校後は、玄関で上履きに履き替えて教室へ。	学期制 学年区分 授業時間 ※上履きの有無
8:15 朝活動	朝の会は、立腰で始まり。出欠と健康観察を行い、朝活動を行う。	立腰教育 ICT活用(欠席把握) 独自試験(ASU検) 校納金徴収 グリーンカーテン
8:35 授業	授業開始。開始時間は全学年統一。5・6年生も専科担任制を行う。中→小、小→中への相互乗り入れ授業実施。行事も小中合同で実施。	授業時間(ノーチャイム) ICT活用(電子黒板等) 独自学習 外国語活動 ステップ学習 持続発展教育 学校体力向上取組 小中合同行事
12:20 給食	ランチルーム又は教室で給食をとる。食缶や食器の配膳は子供たちで行う。	給食提供方法 給食費徴収
13:00 昼休み	昼休みに希望者による昼仮眠を実施。	学校体力向上取組 昼仮眠制度
13:45 掃除	全校一斉に掃除タイム。	※掃除の必要可否 ※掃除道具
15:45 ホームルーム	今日のこと、明日のことについて確認。	独自試験(ASU検) ICT活用(携帯端末) グリーンカーテン
16:20 部活動 下校	7~9年生は部活動へ。1~6年生は下校。	部活動種目 通学手段
17:00 夜間学習	9年生の希望者は受験に向けて夜間学習を受講。	夜間学習制度
18:30 最終下校	部活動を終えた7~9年生が下校。	通学手段
19:00 帰宅	帰宅後、保護者は携帯端末で学校からの連絡事項を確認する。また、宿題も携帯端末で行	ICT活用(携帯端末) ICT活用(e塾)

保護者メールの活用

教育ビジョンと学校全体との関係(イメージ)

